

学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 105 条の規定に基づき、神戸大学国際人間科学部において、本学の学生以外の者を対象とした特別の課程（履修証明プログラム）を設置しました。募集要項等の詳細については、学ぶ楽しみプログラムホームページをご覧ください。（<http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/KUPI.html>）

## 神戸大学国際人間科学部 特別の課程（履修証明プログラム）

実施部局	国際人間科学部				
特別の課程の名称	神戸大学・学ぶ楽しみ発見プログラム				
目的	大学の資源を無理なく効果的に活用することで、大学の知へのアクセスから最も遠ざけられてきた知的障害者の学びに貢献する方策を探る。(文部科学省の委託研究)				
内容	学校卒業後の知的障害者を対象として、大学の知に触れることで楽しく学びながら活躍する知的障害者のリーダーを養成することを目的とし、自己認識と自己表現、他者認識と対話、社会認識を柱とするカリキュラムを提供する。				
履修資格	高等学校あるいは特別支援学校高等部を卒業した、言語によるコミュニケーションが可能で、かつ遠隔教育の受講が可能な知的障害のある青年。				
定員	10 名				
受講料	50,000 円	総時間数	90 時間		
実施期間	10 月～2 月				
講習又は授業の方法	正規授業への参画と、本プログラム固有の講習とを組み合わせる。なお、新型コロナの影響を考慮して、遠隔授業ができる体制を準備する。				
修了要件	授業に出席し活発に発言するなど、十分に学びに参加すること。				
単位授与の有無	無				
実施体制	コーディネーターやメンター学生を雇用することで受講者の学びを保障し、協力教員の参画を得る。また、実施委員会及び評価委員会を組織し、それぞれ修了判定等、課程の評価を行う。				
特別の課程の構成（開設科目等）					
開設科目等の名称	講習・授業科目の別	時間数	単位の有無	担当教員名	備考
社会教育課題研究（障害共生教育論）1	授業	15 時間	無	津田英二	
社会教育課題研究（障害共生教育論）2	授業	15 時間	無	津田英二	
よりよく生きるための科学と文化	講習	30 時間	無	赤木和重他	
話し合う!やってみる!	講習	30 時間	無	コーディネーター	

## 「神戸大学・学ぶ楽しみ発見プログラム」の基本的な内容

### 【プログラムの内容】

- 火曜日** 「社会教育課題研究（障害共生教育論）」  
 神戸大学国際人間科学部の授業に参加をして、本プログラムに参加するみなさんと一般学生が話し合いながら共に学び、あるいはお互いに学び合う授業を創っていきます。
- 水曜日** 「よりよく生きるための科学と文化」  
 教育学、哲学、音楽学、心理学、自然科学などを専門とする大学教員が、本プログラムのための特別授業を行います。
- 金曜日** 「話し合う！やってみる！」  
 やってみたいことを話し合って計画を立てます。外にも出かけます。神戸大学生も一緒に研究や創作活動を行います。
- 課外活動** 神戸大学が主宰するいくつかのプログラムに参加をすることができます。（任意）それぞれのプログラムについては随時お知らせします。

### 一日の流れ

	火曜日	水曜日	金曜日
16：30～	ホームルーム（夕食も兼ねて）	ホームルーム（夕食も兼ねて）	ホームルーム
17：00～	授業 「社会教育課題研究（障害共生教育論）1、2」	授業 「よりよく生きるための科学と文化」	話し合い活動 夕食
18：00～			
19：00～ 20：00	ふりかえり 終了	ふりかえり 終了	ふりかえり 終了

### 入学から修了までの流れ

- 2020年10月2日（金） 入学式  
 2020年10月6日（火） 授業開始  
 2021年2月2日（火） 授業最終日  
 2021年2月3日（水） 修了式

※ 2020年度については、対面授業が不可となった際、速やかにZoomを用いた授業に切り替えることができるよう、準備を進める。

## 「社会教育課題研究（障害共生教育論）1」シラバス

### 授業のテーマ

知的障害のある学習者と共に学ぶ経験をすることによって、学習者理解、学習支援方法などを実践的に学ぶ。

### 授業の到達目標

学習者の特性や背景を理解し、適切な学習支援の方法を身につける。

### 授業の概要と計画

1. 知的障害者の学習者特性
2. 知的障害者の学習実態
3. 障害者青年学級
4. 学習資源としてのカフェ
5. 社会福祉事業所における学び
6. オープンカレッジの試み
7. セルフ・アドボカシー

## 「社会教育課題研究（障害共生教育論）2」シラバス

### 授業のテーマ

知的障害者の学習プログラムの作成・実施過程に関わることで、学習者理解、学習支援方法などを実践的に学ぶ

### 授業の到達目標

学習者の特性や背景を理解し、適切な学習支援の方法を身につける。

### 授業の概要と計画

1. 知的障害者の学習機会の概要
2. 学習者としての知的障害者の特性
3. 学習プログラム策定1
4. 学習プログラム策定2
5. 学習プログラム策定3
6. 学習プログラム実施1
7. 学習プログラム実施2
8. ふりかえり・まとめ

## 2020年度「よりよく生きるための科学と文化」カリキュラム（案）

（1）「人間と発達」 赤木 和重 先生

- ① お互いのことを知ろう
- ② 自分の悩みを研究する（その1）
- ③ 自分の悩みを研究する（その2）

（2）「人間と宇宙」 伊藤 真之 先生

- ① 人間の住む地球
- ② 人工衛星や宇宙のことを知る

（3）「芸術と人間」 大田 美佐子 先生

- ① 音楽の歴史を知る
- ② 現在音楽を楽しむ

（4）「表現者としての人間」 岡崎 香奈 先生

- ① 即興音楽を体験しよう
- ② 楽器演奏を楽しむ
- ③ 歌詞をつける。一緒に歌う。

（5）「よりよく生きるためのてつがく」 稲原 美苗 先生

- ① 自分とは何か
- ② 対話形式で考える

（6）「人と動物のかかわり」 清野 未恵子 先生

- ① サルの生態
- ② 獣害について考える

（7）「人間の生活と言語表現」 川地 亜弥子 先生

- ① 文章を書いてみよう
- ② 仲間の文章を読んでみよう

課外授業 日程：未定

「ワーク キャンプ」に参加しよう！ 松岡 広路 先生